

街へ、暮らしへ、広がる近鉄ネットワーク

証券コード9041



www.kintetsu.jp

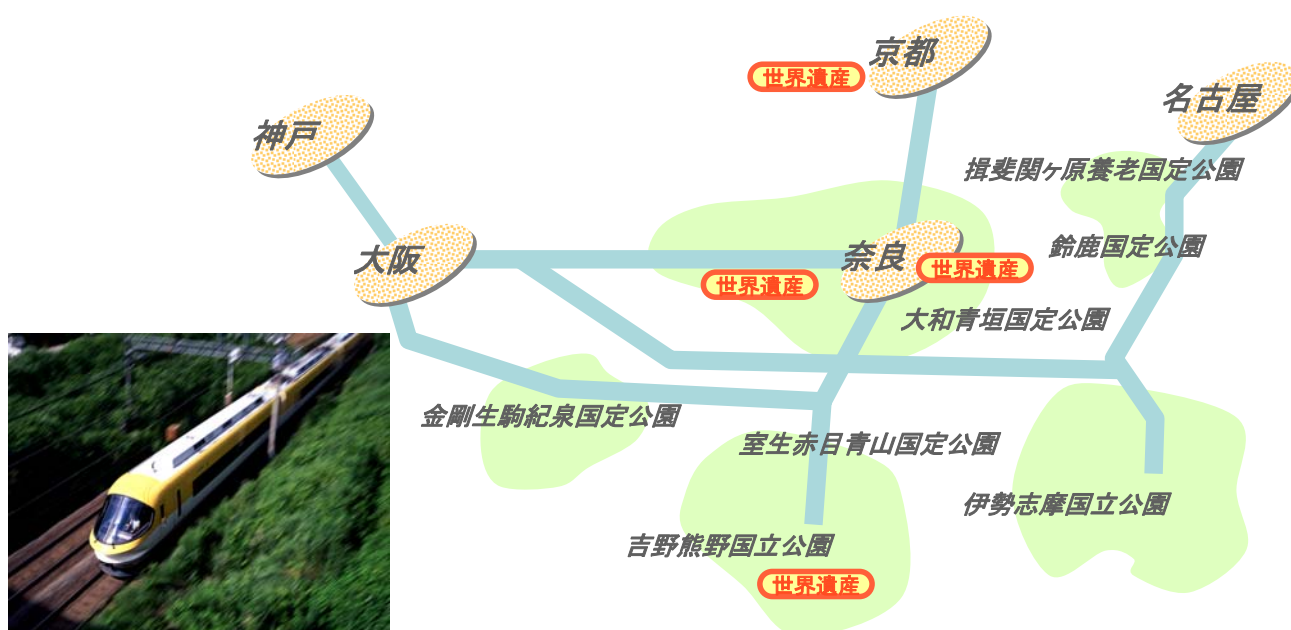
09年3月期 決算説明会

2009年5月20日

- I. 09/3月期 決算の概要
- II. 10/3月期 通期計画
- III. 近鉄グループ経営計画 進捗状況



I. 09/3月期 決算の概要



09 / 3月期 決算トピックス

鉄軌道事業

- ◆ 奈良線八戸ノ里・瓢箪山間連続立体交差化工事、車両新造工事、京都駅および大阪阿部野橋駅施設改良工事などを推進
- ◆ 08/6月 : 主要路線の一部区間で新型速度制限用ATSの運用を開始
- ◆ 09/3月 : 阪神電気鉄道との列車相互直通運転を開始

ホテル・レジャー事業

- ◆ 08/4月 : ホテルニューアルカイクの事業を譲り受け、近鉄直営ホテルとして営業開始
- ◆ 08/8月 : クラブツーリズムを連結子会社化
- ◆ 08/10月 : 賢島で本格的リゾートホテル「志摩観光ホテル ベイスイート」を開業

流通事業

- ◆ 08/5月 : 大阪難波駅構内ショッピングモール「Time's Place」を開業
- ◆ 08/9月 : 近鉄百貨店阿倍野店南側に新商業施設「and(アンド)」を開業

不動産事業

- ◆ 08/10月 : 京都駅高架下商業施設「近鉄名店街 みやこみち」をリニューアルオープン
- ◆ 09/3月 : 阿部野橋ターミナルビル旧館部分の解体に着手

グループ再編

- ◆ 09/3月 : 近鉄グループ百貨店3社が合併

09 / 3月期 決算トピックス

経営成績

- ◆ **売上高=9,675億円(+422億円、+4.6%)**
鉄軌道部門で個人消費の落ち込みや雇用情勢の悪化などの影響を受け、鉄道旅客収入は減
レジャー・サービス業は本年下半期からのクラブツーリズム連結化により増収
流通業は前年下半期からの近商ストア連結化で、百貨店部門の減収を差し引き増収
不動産業がマンション・戸建住宅とも販売戸数の減のほか、前期に大口売却もあったため減収
- ◆ **営業利益=432億円(▲139億円、▲24.4%)**
鉄軌道部門で減収や退職給付費用の増により減益
レジャー・サービス業は既存ホテルの減収、新規開業ホテルの初期費用、クラブツーリズム子会社化に伴うのれん償却負担増により減益
百貨店部門は減収に売場改装等に伴う償却負担増が加わり減益
- ◆ **経常利益=234億円(▲184億円、▲44.0%)**
持分法投資損益が悪化、受取配当金が減少
- ◆ **当期純利益=160億円(▲72億円、▲31.0%)**
特別利益が前期に特別配当金を計上していたため減少
特別損失が前期にたな卸資産評価損や店舗建替損失引当金を計上していたため減少
法人税等は前期に子会社清算に伴う税負担軽減があったため増加

設備投資

- ◆ **687億円(▲531億円、前期の阿部野橋ターミナルビル取得を除くと+244億円)**
鉄道車両(特急車10両、通勤車8両)新造、志摩観光ホテルベイスイート建設、近鉄百貨店阿倍野店南側新商業施設「and(アンド)」建設、京都駅高架下商業施設「近鉄名店街みやこみち」リニューアル等

09 / 3月期 セグメント別実績(連結)

(億円:%)	08 / 3期	09 / 3期	前期比増減	
	売上高	売上高	金額	率(%)
	営業利益 (営業利益率)	営業利益 (営業利益率)		
運 輸 業	2,297	2,236	▲ 61	▲ 2.7
	384 (16.7)	323 (14.5)	▲ 61	▲ 15.9
レジャー・サービス業	1,328	1,963	634	47.8
	23 (1.7)	▲ 14 (▲0.7)	▲ 37	—
流 通 業	4,501	4,563	62	1.4
	40 (0.9)	6 (0.2)	▲ 33	▲ 82.9
不 動 産 業	1,322	1,111	▲ 210	▲ 15.9
	106 (8.0)	98 (8.9)	▲ 7	▲ 6.8
そ の 他 の 事 業	478	515	37	7.8
	17 (3.6)	14 (2.8)	▲ 2	▲ 15.6
合 計	9,253	9,675	422	4.6
	571 (6.2)	432 (4.5)	▲ 139	▲ 24.4

[売上高の主な増減要因]

- ・レジャー・サービス業で09/3下期よりクラブツーリズムを新規連結 +641
- ・流通業で08/3下期より近商ストアを新規連結 +325、百貨店部門の減収 -240
- ・不動産業のうち販売部門の減収 -188 ・運輸業のうち鉄軌道部門の減収 -28

09 / 3月期 決算の概要(連結)

(億円:%)	08 / 3期		09 / 3期		前期比増減		08 / 11 時点見通
		構成比		構成比	金額	率(%)	
売 上 高	9,253	100.0	9,675	100.0	422	4.6	10,000
営 業 利 益	571	6.2	432	4.5	▲ 139	▲ 24.4	470
経 常 利 益	418	4.5	234	2.4	▲ 184	▲ 44.0	270
特 別 利 益	322		107		▲ 215	▲ 66.7	
特 別 損 失	405		62		▲ 342	▲ 84.6	
当 期 純 利 益	232	2.5	160	1.7	▲ 72	▲ 31.0	200

1株当たり純利益 13円70銭

9円47銭

(注) 連結子会社数 50社(前期末比▲3社減) 持分法適用会社数 7社(前期末比▲2社減)

(億円)	08 / 3期	09 / 3期	比較増減額	備考
設 備 投 資	1,218	687	▲ 531	(前期)阿部野橋ターミナルビル取得776億円
減 価 償 却 費	407	458	50	

09 / 3月期 決算の概要(単体)

(億円:%)	08 / 3期		09 / 3期		前期比増減	
		構成比		構成比	金額	率(%)
営業収益	2,939	100.0	2,813	100.0	▲ 126	▲ 4.3
鉄軌道事業	1,684		1,654		▲ 30	▲ 1.8
付帯事業	1,254		1,158		▲ 95	▲ 7.6
営業利益	394	13.4	387	13.8	▲ 7	▲ 1.9
鉄軌道事業	365		310		▲ 54	▲ 14.9
付帯事業	29		76		47	160.9
経常利益	254	8.7	215	7.7	▲ 39	▲ 15.6
特別利益	342		90		▲ 252	▲ 73.6
特別損失	375		46		▲ 329	▲ 87.7
当期純利益	76	2.6	169	6.0	93	121.5

09 / 3月期 貸借対照表の主な増減(連結)

(億円:%)	08 / 3月期		09 / 3月期		比較増減額
		構成比		構成比	
流動資産	3,691	20.0	3,600	19.4	▲ 91
固定資産	14,777	80.0	15,005	80.6	227
うち事業用資産	13,244		13,546		302
資産合計	18,474	100.0	18,612	100.0	138
流動負債	6,353	34.4	6,290	33.8	▲ 62
固定負債	10,222	55.3	10,426	56.0	203
負債合計	16,576	89.7	16,716	89.8	140
うち借入金・社債	12,610		12,919		309
純資産合計	1,897	10.3	1,896	10.2	▲ 1
うち利益剰余金	▲ 118		▲ 22		96
負債、純資産合計	18,474	100.0	18,612	100.0	138

	08 / 3月期	09 / 3月期
一株当たり純資産(円)	106.00	106.26
自己資本比率(%)	9.8	9.7

[主な増減要因]

資産

- ・連結子会社増 +235
- ・設備投資 +687
- ・償却・除却 -481
- ・未収金回収 -104
- ・投資有価証券 -79
- ・繰延税金資産 -82
- ・たな卸資産 -28

負債

- ・連結子会社増 +220
- ・既存会社で借入増 +296
- ・未払金の減 -178
- ・長期未払金の減 -64
- ・退職給付引当金の減 -56

09 / 3月期 キャッシュフローの状況(連結)

(億円)	08 / 3月期	09 / 3月期	比較増減額
営業活動によるキャッシュフロー	721	475	▲ 246
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 799	▲ 437	361
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 11	1	12
現金及び現金同等物の期末残高	260	291	30

[キャッシュフローの当期の状況と対前期比増減]

営業活動

- 営業利益の減少や仕入債務の減少により、全体としては前期比246億円減となる475億円の収入

投資活動

- 鉄道設備投資や志摩観光ホテルベイスイート建設等の固定資産取得に584億円(前期比604億円減)を支出し、投資有価証券の取得による支出もあり、全体としては前期比361億円減となる437億円を支出

財務活動

- 借入金・社債が増加し、長期未払金等の返済を差し引き、全体としては支出超過であった前期に比し12億円の収入増となる1億円の収入

Ⅱ. 10 / 3月期 通期計画



10/3月期 セグメント別計画(連結)

(億円:%)	09/3期 実績	10/3期計画	前期比増減	
	売上高	売上高		
	営業利益 (営業利益率)	営業利益 (営業利益率)	金額	率(%)
運 輸 業	2,236	2,200	▲ 36	▲ 1.6
	323 (14.5)	305 (13.9)	▲ 18	▲ 5.8
レジャー・サービス業	1,963	2,650	686	35.0
	▲ 14 (▲0.7)	10 (0.4)	24	—
流 通 業	4,563	4,300	▲263	▲ 5.8
	6 (0.2)	15 (0.3)	8	116.5
不 動 産 業	1,111	1,250	138	12.4
	98 (8.9)	72 (5.8)	▲ 26	▲ 27.2
そ の 他 の 事 業	515	500	▲ 15	▲ 3.0
	14 (2.8)	14 (2.8)	▲ 0	▲ 3.4
合 計	9,675	10,200	524	5.4
	432 (4.5)	420 (4.1)	▲ 12	▲ 2.9

10/3月期 通期計画(連結)

(億円:%)	09/3期 実績		10/3期 計画		前期比増減	
		構成比		構成比	金額	率(%)
売 上 高	9,675	100.0	10,200	100.0	524	5.4
営 業 利 益	432	4.5	420	4.1	▲ 12	▲ 2.9
経 常 利 益	234	2.4	220	2.2	▲ 14	▲ 6.2
当 期 純 利 益	160	1.7	140	1.4	▲ 20	▲ 12.9

(億円)	09/3期 実績	10/3期 計画	比較増減額
設 備 投 資	687	640	▲ 47
運 輸 業	307	318	10
レジャー・サービス業	131	73	▲ 58
流 通 業	182	96	▲ 86
不 動 産 業	102	140	37
減 価 償 却 費	458	460	1
借 入 金 ・ 社 債 残 高	12,919	12,900	▲ 19

10/3月期 通期計画(単体)

(億円:%)	09/3期 実績		10/3期 計画		前期比増減	
		構成比		構成比	金額	率(%)
営業収益	2,813	100.0	2,780	100.0	▲ 33	▲ 1.2
鉄軌道事業	1,654		1,630		▲ 24	▲ 1.5
付帯事業	1,158		1,150		▲ 8	▲ 0.8
営業利益	387	13.8	350	12.6	▲ 37	▲ 9.6
鉄軌道事業	310		290		▲ 20	▲ 6.8
付帯事業	76		60		▲ 16	▲ 21.4
経常利益	215	7.7	170	6.1	▲ 45	▲ 21.0
当期純利益	169	6.0	100	3.6	▲ 69	▲ 41.1

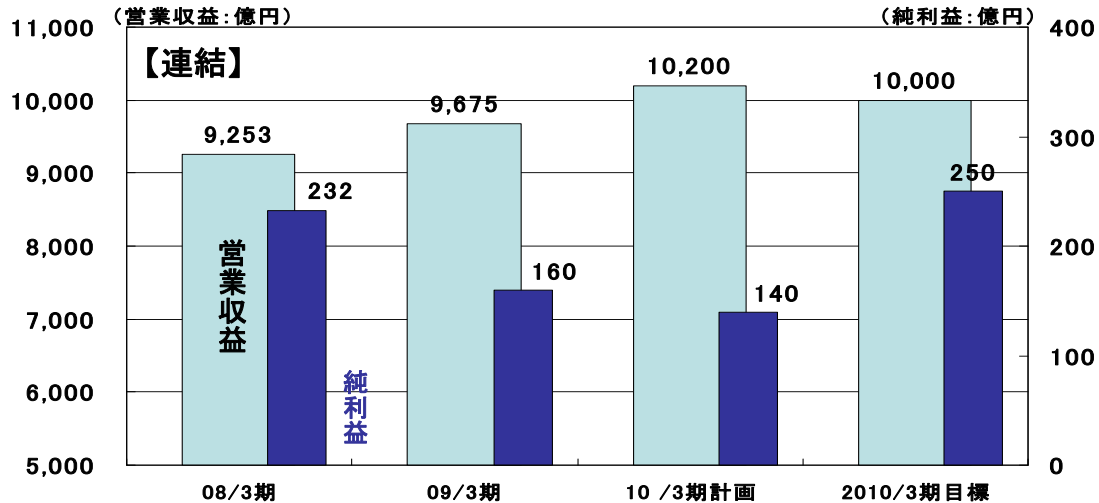
(億円)	09/3期 実績	10/3期 計画	比較増減額
設備投資(うち鉄道)	441 (276)	440 (280)	▲ 1 (3)
減価償却費	283	288	4
借入金・社債残高	11,183	11,200	16

Ⅲ. 近鉄グループ経営計画 進捗状況

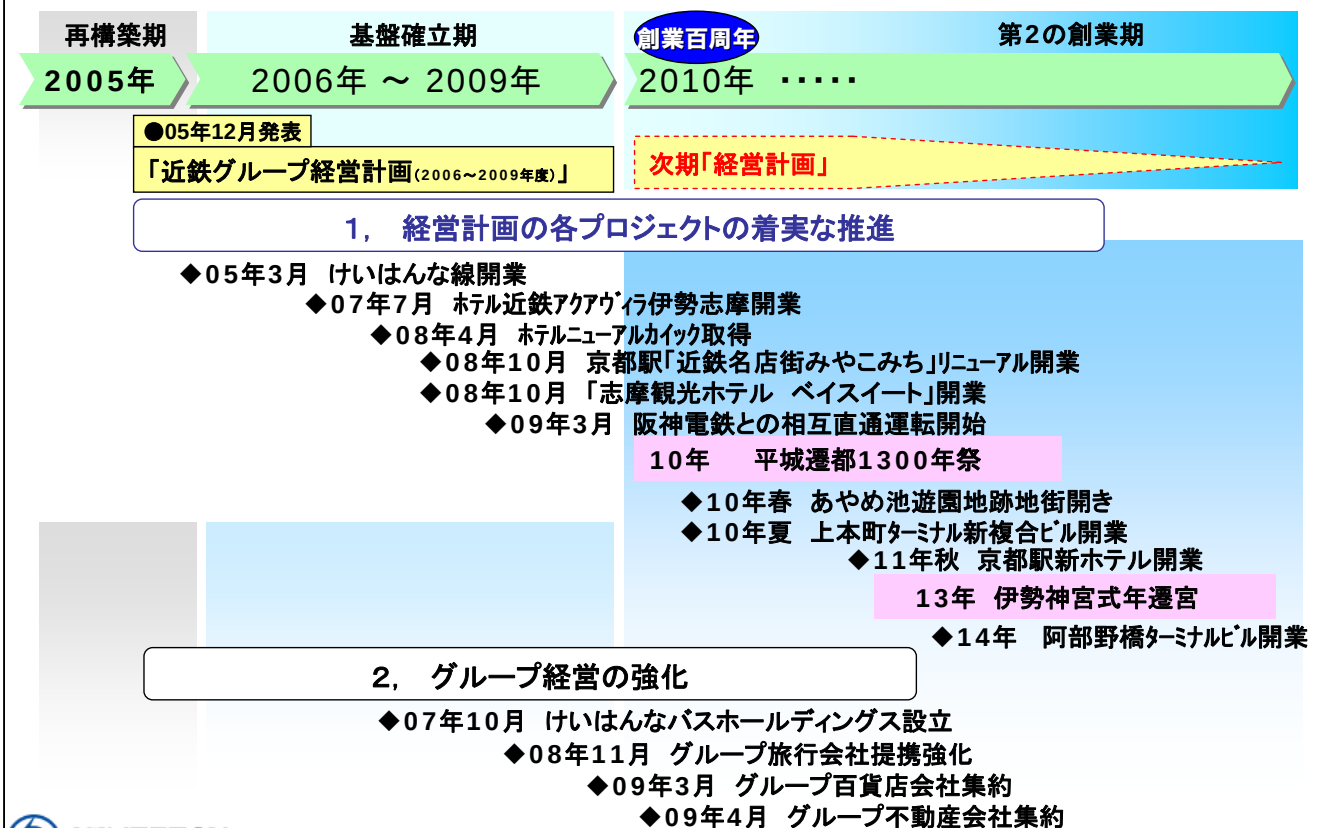


グループ経営計画の概要

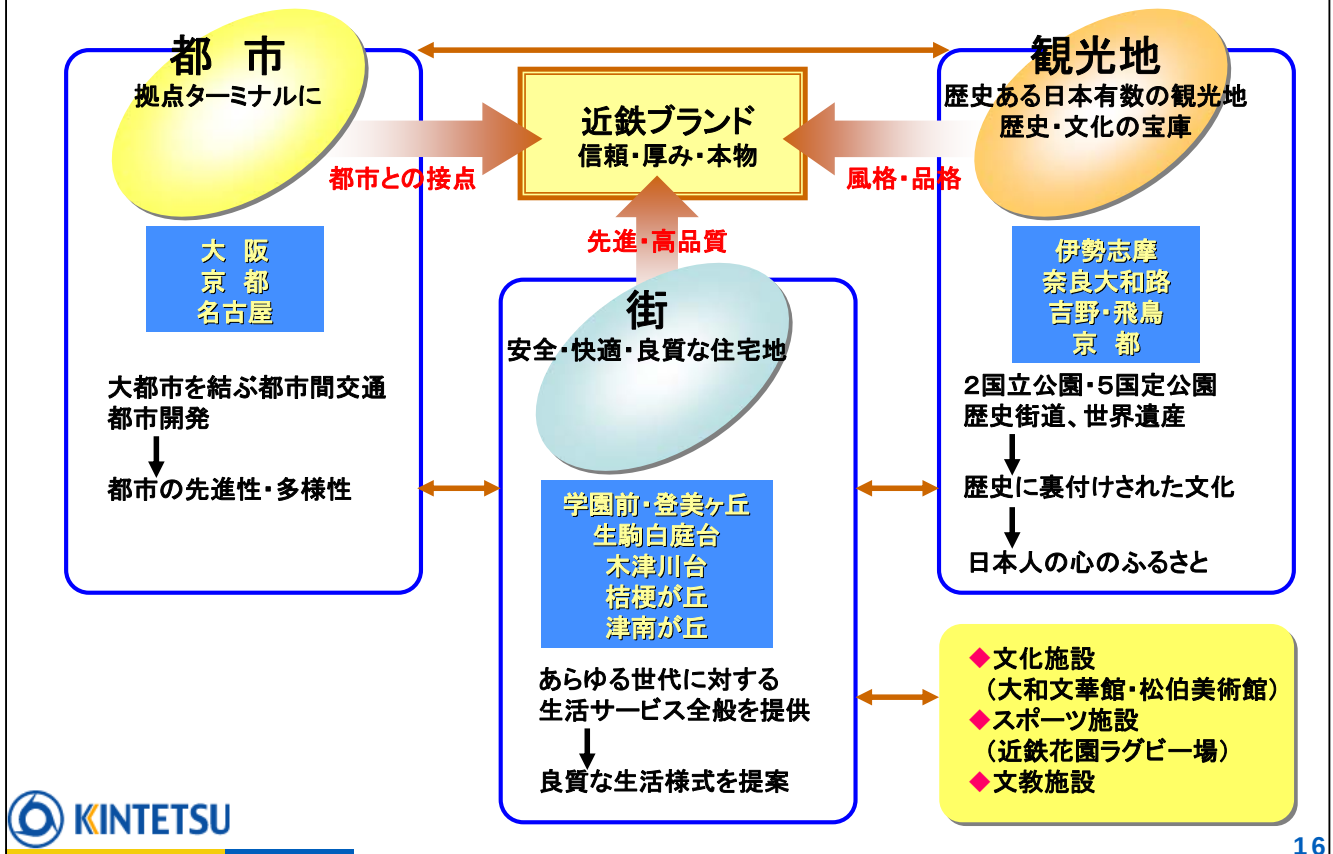
	(億円)	08/3期	09/3期	10/3期計画	2010/3期目標
連結	営業収益	9,253	9,675	10,200	10,000
	当期純利益	232	160	140	250
	有利子負債	12,610	12,919	12,900	12,000以内
単体	営業収益	2,939	2,813	2,780	3,000
	当期純利益	76	169	100	150



「経営計画」の経緯と次期計画



事業構築理念



16

4つのコア事業の推進

鉄道事業

- ◆ 安全確保のための対策を強化。新型ATSの整備等、安全投資を確実に実施
- ◆ 09年3月、**阪神電鉄との相互直通運転開始**による実質的な沿線拡大を機に需要喚起
- ◆ 伊勢志摩・**奈良大和路**といった沿線観光地の活性化
- ◆ **阿部野橋**、上本町、**京都等のターミナル整備**により利便性・快適性の向上

不動産事業

- ◆ ターミナル整備や主要駅の周辺開発により、将来の賃貸収益の基盤強化を図る
- ◆ けいはんな線沿線やあやめ池遊園地跡地開発といった良好な街づくりによる沿線価値向上と資金回収推進

流通事業

- ◆ **(株)近鉄百貨店、阿倍野本店建て替え**2014年に向け、収益向上、利益率の向上を図る
- ◆ 難波駅構内、**西大寺駅構内のショッピングモール化**など、顧客ニーズにあった駅ナカ事業の積極的展開

ホテル・レジャー事業

- ◆ 08/4月ホテルニューアルカイク取得、08/10月志摩観光ホテルベイスイート開業等、直営ホテル増加による収益基盤の確立
- ◆ 既存ホテルのリニューアル等、ホテル間競争力の強化と収支向上の継続
- ◆ 「伊勢志摩近鉄リゾート」という地域統一ブランドでグループ会社間の営業連携、施設連携を強化

17

主要プロジェクトの進捗状況

■ 阿部野橋ターミナルビル整備

- 地域ポテンシャル
- 阿部野橋ターミナル周辺整備状況
- 駅直結の一大複合ターミナルビル計画概要

■ 阪神電鉄との相互直通運転

- 相互直通運転の概要
- 沿線の広がり

■ 京都駅ターミナルビル整備

- 奈良大和路への玄関口整備
- 駅高架下商業施設リニューアル

■ 平城遷都1300年祭(奈良地域活性化)

- 大和西大寺駅(平城遷都1300年祭最寄駅) 駅ナカショッピングモール化
- 平城遷都1300年祭の概要
- 奈良県内の観光資源と関連イベント

阿部野橋ターミナルビル整備

地域ポテンシャル

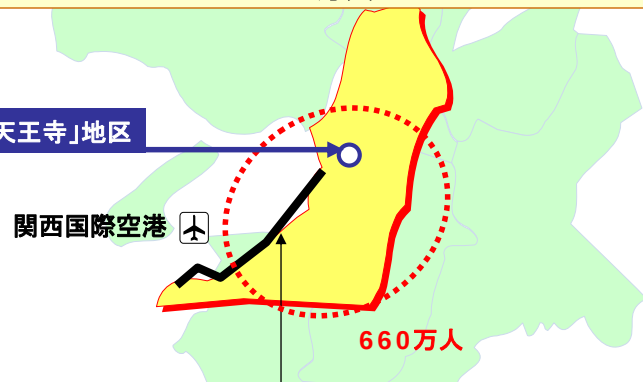
大阪における、“南の玄関口”としての「阿倍野・天王寺」地区

Potential ① ターミナル乗降 80万人/日
(近鉄、JR、地下鉄、阪堺)



Potential ② 近鉄百貨店阿倍野本店商圈

- 商圈人口 660万人(280万世帯)
- 年間売上 1,206億円(08年度)
- 1日来店客数 8万人



Potential ③ ベイエリアでの開発

堺でのシャープ関連液晶コンビナート進出

阿部野橋ターミナルビル建設に先立ち、Hoop南側に「都市生活素材館・and」を展開
阿倍野地区は近鉄百貨店3館体制に

昨年9月に「都市生活素材館・and(アンド)」がオープン
近鉄百貨店阿倍野本店、Hoop、andの3館体制で
在阪トップクラスの76,000㎡の営業面積



高さ300mの爽快空間
展望台、スカイガーデン



Hotel

・ホテル
約34,000㎡
19・20階、
38～55・57階
(約360室)

Office

・オフィス
約62,000㎡
17・18階、
21～36階

Museum

Department Store

百貨店
売場面積約100,000㎡
B2階～14階

Station

地下5階

先進的な都市機能をひとつのビルに集積

オフィス

最先端の大規模オフィス



百貨店

日本最大の
都心複合型百貨店



ホテル

国際級ホテル



美術館

文化と憩いの
空中都市型美術館



コンコース

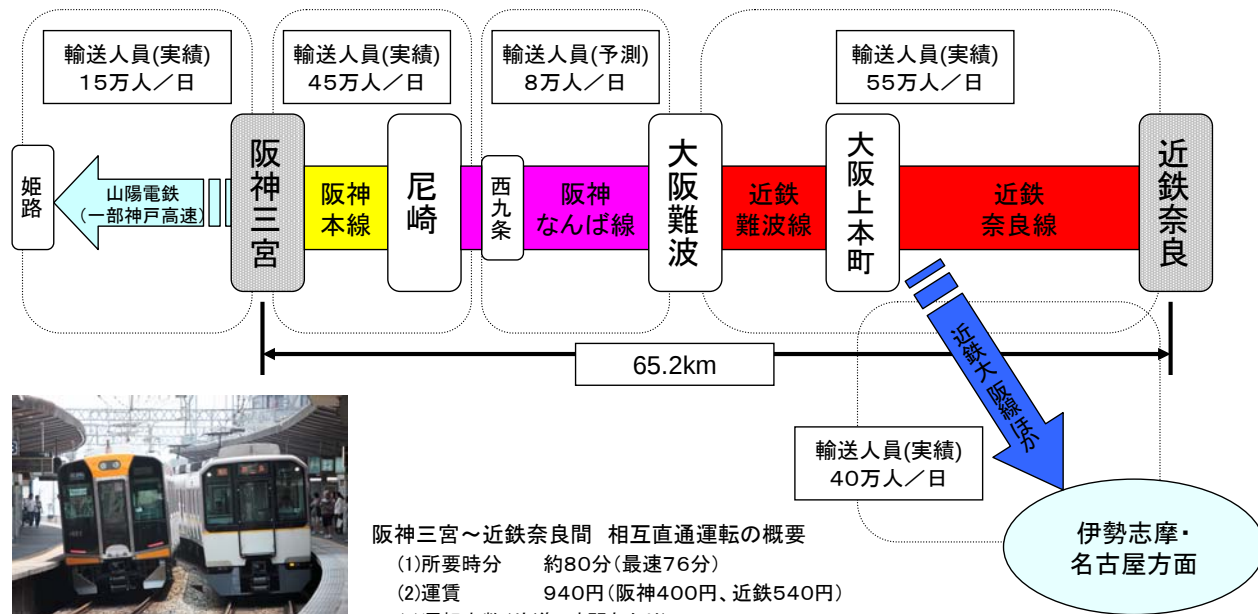
人に優しく便利な駅 大阪阿部野橋駅



相互直通運転の概要

阪神三宮駅から近鉄奈良駅まで乗り換えなしの直通運転開始(09年3月20日開業)

将来は、西は姫路、東は伊勢志摩、名古屋へ特急運転



	時間帯	快速急行	普通等	合計
平日	朝ラッシュ時	5本	5本	10本
	昼間時	3本	3本	6本
土・休日	終日	3本	6本	9本

沿線の広がり

のりかえなしで、神戸へ、奈良へ。

阪神電鉄との相互直通運転により、神戸・大阪・奈良が一つにつながります



奈良大和路への玄関口整備

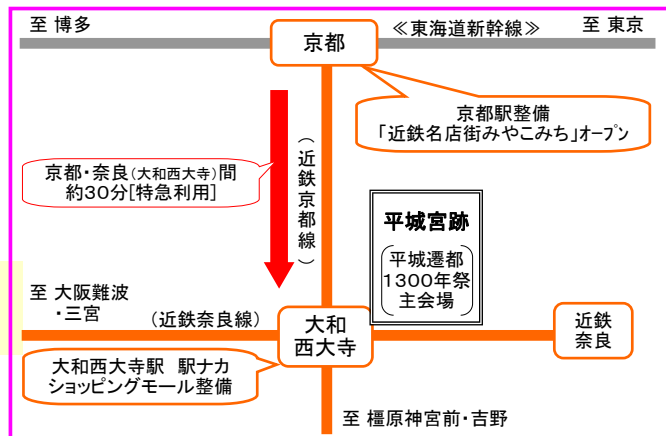
奈良大和路へ年間150万人を送客

◆4号線新設、改札口の統合～駅の利便性向上



1. 新幹線からの乗換利便性向上
奈良大和路への玄関口として
ふさわしい駅へ整備
2. 利便性高くバランスのよい特急網の確立
ホームにおいて余裕ある停車時間を確保、
お客様へのサービス向上

特急列車発着本数 118本／日(59往復)
特急利用人員 約1万人／日
4号線増線(2012年春)により、特急増本可能



京都駅高架下商業施設「近鉄名店街」リニューアル

08年10月「近鉄名店街みやこみち」全面リニューアルオープン

国際観光都市・京都、奈良大和路への玄関口である京都駅において、観光のお客様はもちろん地元のお客様まで、幅広いニーズに対応できる商業施設へとリニューアル。

「近鉄名店街みやこみち」概要

店舗面積 約3,400㎡

店舗数 物販・サービス、飲食など41店舗



近鉄名店街みやこみち



※京都駅ターミナル整備では、
この他に以下の事業を推進中

- ①宿泊特化型ホテル新設(2011年秋完成)
- ②4号線新設(2012年春完成)



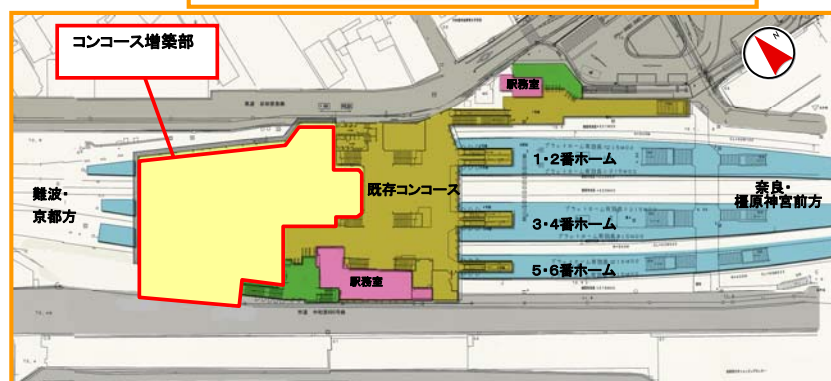
京都駅4号線および新ホテル

大和西大寺駅 駅ナカショッピングモール

09年9月 大和西大寺駅 駅ナカショッピングモール オープン

平城遷都1300年祭メイン会場の最寄駅となる大和西大寺駅では、コンコース面積を約2倍に増床し、駅ナカショッピングモールを整備。

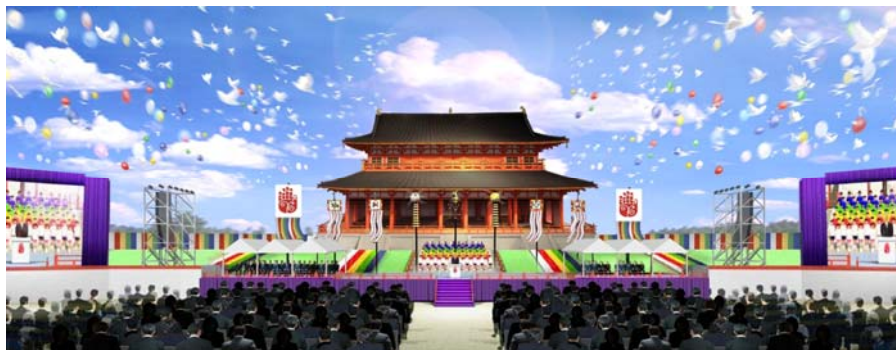
店舗面積 : 約1,100㎡
店舗数 : 飲食・物販など合計28店舗
投資額 : 約30億円



平城遷都1300年祭 開催時期および概要

2010年の開催にあわせ、復原された大極殿正殿が公開される平城宮跡をメイン会場に、県下の50を越える社寺が秘宝、秘仏公開など、県全域に亘って歴史や文化資源を活かしたイベントが展開。

会 期 : 2010年1月1日～12月31日(平城宮跡では4月24日～11月7日)
事業規模 : 全体事業費 約100億円、参集規模 全体1,200～1,300万人(平城宮跡 約250万人)
主な事業 : 大極殿完成記念式典(4月)、平城遷都1300年記念祝典(10月)



平城遷都1300年記念祝典イメージ (平城宮跡 大極殿正殿)

2010年 平城遷都1300年祭

平城遷都1300年を機に、日本の歴史・文化が連続と続いたことを「祝い、感謝する」とともに、「日本のはじまり奈良」を素材に、過去・現在・未来の日本を「考える」。



平城宮跡 朱雀門



奈良県の観光ポテンシャル

歴史文化の宝庫
奈良県の観光入込み客数
～年間3,500万人～

① 3つの世界遺産

◆古都奈良の文化財

(東大寺、興福寺、春日大社、春日奥山原始林、元興寺、薬師寺、唐招提寺、平城宮跡)

◆法隆寺地域の仏教建造物

(法隆寺、法起寺)

◆紀伊山地の霊場と修験道

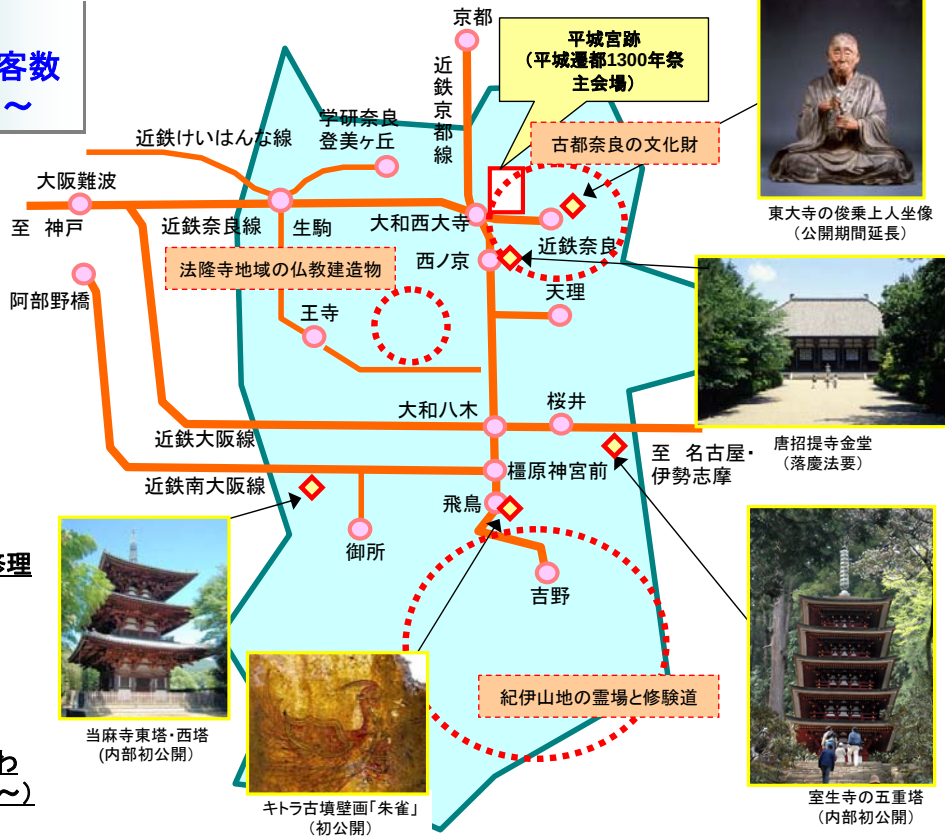
(吉野・大峯)

② 唐招提寺 金堂平成大修理 落慶法要(09年11月)

③ キトラ古墳壁画

四神(青竜・白虎・朱雀・玄武)
一斉公開(10年5月)

④ 平城遷都1300年祭に合わせ せた秘宝・秘仏公開(10年～)



グループ経営の強化

再構築期

基盤確立期

創業百周年

第2の創業期

2005年

2006年～2009年

2010年……

●05年12月発表

「近鉄グループ経営計画(2006～2009年度)」

次期「経営計画」

2. グループ経営の強化

- グループ間の営業連携強化のため、戦略的・効率的な再編をすすめる
- グループ統治体制の整備、強化
- 本社による事業分野ごとの責任経営体制の構築

◆07年10月 けいはんなバスホールディングス設立

◆08年11月 グループ旅行会社提携強化

◆09年3月 グループ百貨店会社集約

◆09年4月 グループ不動産会社集約

：

● 次期「経営計画」にてグループ戦略策定

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。



お問合せ先

経理部

Tel:06-6775-3465

Fax:06-6775-3691

Mail:ir-info@rw.kintetsu.co.jp